



会 津 大 学

後援会だより

第 50 号

発 行: 会津大学後援会(事務局学生課)

発行日: 2023 年 8 月 1 日

住 所: 〒965-8580 福島県会津若松市一箕町鶴賀

電 話: 0242-37-2515

U R L: <https://u-aizu.ac.jp/>

会長あいさつ

会津大学後援会長 小林 呂嘉

会津大学後援会会員の皆様におかれましては、日頃より後援会の運営にご支援・ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。また、新たにご入学されました新入生の皆さん並びに保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。

心よりお祝いを申し上げます。

さて、平成5年(1993年)に開学した会津大学は、今年で30周年を迎えました。私自身も会津大学のOBで、平成5年4月に1期生として入学しました。開学当初は、管理棟と研究棟の一部しか完成しておらず、食堂も体育館もグラウンドもないという状況で、教員も学生も、誰もが手探りで忙しい日々を過ごしていたことを懐かしく思い出します。

この30年の情報通信技術(ICT)の進展と普及は目覚ましく、今では、日常生活のあらゆる場面にICTが浸透し、私たちにとって

「あたりまえ」の存在となりました。会津大学は「to Advance Knowledge for Humanity (人類の平和と繁栄に貢献する発見・発明を行うこと)」を建学の基本理念として掲げ、まさにこういった時代を見据えて人材を育成してきました。本学でしっかりと学べば、国際色豊かな先生方と最先端の設備のもと、非常に高度なICTの知識やスキル、さらには高い英語力を身につけることができ、皆さんの可能性を大きく広げることなるものと確信しております。

一方で、大学生活は、これまで以上に自主性が大切になります。これからの生活での選択や行動が、皆さんの将来を大きく変えてしまうこともあるかもしれません。どうか、明確な目標を持ち、失敗を恐れず多くのことに果敢に挑戦していただき、充実した大学生活を過ごされますよう、心から願っております。

最後になりますが、本後援会では、大学と連携をとりながら、学生の皆さんが充実した学生生活を送ることができるように支援を充実させてまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

学位記授与式(2022年度)

2023年3月20日(月)、学位記授与式が執り行われました。コンピュータ理工学部卒業生208名、大学院博士前期課程修了生54名、大学院博士後期課程修了生2名、計264名を代表して、学部卒業生の小石川 響希さんが答辞を述べました。

また、在学中に優秀な成績や研究の成果を修めた学生の表彰も行われました。

学長賞	滝口 裕斗(学部)
	澤井 蘭人(博士前期課程)
優秀賞	小石川 響希(学部)
	酒井 乃輝(学部)
電子情報通信学会東北支部表彰	竹永 裕貴(学部)
情報処理学会東北支部学生奨励賞	佐藤 涼駕(学部)
電気学会東北支部優秀学生賞	松本 正博(学部)
公益財団法人会津地域教育・ 学術振興財団表彰	米倉 佳祐(学部)
	宮田 大輔(博士前期課程)



新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から規模を縮小して開催し、保護者の皆さまにはご同席いただくことができませんでした。このような中でしたが、学生の皆さんは晴れやかな巣立ちの日を迎えました。

入学式について（2023 年度）

2023 年 4 月 4 日（火）、入学式が執り行われました。学部 260 名、博士前期課程 64 名、博士後期課程 3 名、計 327 名が入学し、新入生を代表して、五十嵐 裕紀さんと須藤 瞳さんが宣誓を行いました。

入学式の後には、学部入学生全員での記念撮影を行い、各サークルの勧誘活動も 4 年ぶりに行われました。



在学生表彰（成績優秀者）

2022 年度の各学年の成績優秀者を表彰しました。会津大学では、GPA(*)による成績評価を導入し、学部の各学年の上位 2～3 名を表彰しています。（*Grade Point Average: 大学における成績評価方法の国際標準であり、就職や大学院進学、海外留学の際に活用されています。）



学年 (2022 年度)	成績優秀者		
学部 1 年	五十嵐 拓	小林 幸生	鈴木 温大
学部 2 年	栗林 世瑠	数又 悠真	佐久間 陶冶
学部 3 年	加藤 由芽	石井 大智	-

学生の活動紹介 ～大学発ベンチャー <株式会社 inf.>

株式会社inf.（インフ）の代表取締役を務める学部3年の石川達也です。私は、会津大学発ベンチャーとして2023年3月に創業し、現在は「情報教育」に関する事業を行っています。この記事では私が起業を決意した経緯とこれからの活動についてお話ししたいと思います。

私は福島県岩代町（現二本松市）で生まれました。岩代町は自然豊かな田舎町で、子どもは少なかったですが人数が少ないゆえに皆が仲良く、居心地の良い環境でした。しかし、高校・大学と進学し、自分の生きていた世界がとても狭かったこと、自分に見えていた選択肢が「圧倒的に少なかったこと」に気がつきました。その小さなコミュニティは当時の私にとっての「当たり前」で、その向こう側に広がる広い世界に気づくことができませんでした。情報化が進んだ現在でも「都市と地方」には様々な格差が存在しており、情報格差、機会格差など地域格差といった形で問題となっています。

「子どもたちが生まれた場所、育った地域でその子の選択肢・可能性の幅が決められてしまう。」本人には変えることの出来ない「生まれ」という初期条件によって、人生の選択肢の幅が狭められ、将来の可能性が大きく制限されてしまう。それはとても悲しく、そして悔しいことではないでしょうか？



今や”情報”と上手く付き合い、情報技術を活用する力「情報活用能力」は大人・子供問わず必要とされる力のひとつになりました。「情報活用能力」を身につけることで、私たちはさまざまな情報を上手く扱えるようになり、多くの新たなモノやコトに出会うことが出来るようになります。さらに広い価値観・世界との出会いは、自分のやりたい軸で物事を選択するのに役立ち、主体的な選択が可能になると考えます。そしてこの「情報活用能力」を身につけるのに必要な教育が情報教育なのです。

私たち株式会社inf. (インフ) は情報教育によって子どもたちの可能性と選択肢を広げ、「すべてのひとが自分の選択に納得し主体的に生きることのできる社会」の実現を目指して活動していきます。

海外留学事業について

コロナ禍で中止となっていた、海外留学プログラムが 2022 年度によりやく再開されました。

様々な規制がある中での留学でしたが、アメリカ、ドイツの中期留学プログラムに 4 名の学生が参加しました。また、短期留学(アメリカ、ニュージーランド)には、12 名の学生が参加しました。各プログラムに参加した学生の体験談をご紹介します。

中期留学: ローズハルマン工科大学

(アメリカ インディアナ州)

派遣期間: 3 か月(2022 年 12 月～2023 年 2 月)

浅井 海斗さん (学部 4 年)

留学の理由は、英語、ソフトウェア、論文の書き方等、研究に関する必要な技術を学ぶためです。さらに、社会人になる前に世界を見てみたいという思いもあります。

留学先のアメリカで最初に感じたことは、「無力さ」でした。自分が伝えたいことが相手に伝わらず、授業も理解できず、留学開始から 1 ヶ月は、毎日同じことの繰り返しで時間が長く感じられました。

英語のリスニングのフィードバックとスコアの低さから、自分の未熟さに気がきましたが、留学を諦めずに前進しました。そして、ローズハルマンで出会った留学生との交流が、私の人生に大きな影響を与えました。彼らの夢を持ち頑張るという姿勢と、勉強への情熱に感銘を受け、夢を追いかける喜びと努力の大切さを学びました。

目標に向かって挑戦することは、成功か失敗かに関わらず意味を持ちます。挑戦したこと自体が意味を持ち、将来の経験になります。留学に行こうと悩んでいる人や、何かを始めようとしている人にとって、「考える」ことは簡単でも、実際に実行することは難しいです。しかし、その中で、一歩踏み出すことで大きなチャンスに近づくことができます。



短期留学: ローズハルマン工科大学

(アメリカ インディアナ州)

派遣期間: 3 週間(2023 年 3 月)

松本 辰巳さん (学部 4 年)

このプログラムに参加したのは、何か漠然とした外国に対する好奇心がきっかけでした。日本を出る前は、アメリカという国はとても離れていて、非現実的なのだと感じていました。しかし、留学を終えた今、世界がより身近に、そして現実的に感じられます。

ローズハルマン工科大学では通常の授業の他に、日本の文化を紹介する機会がありました。私たちは日本の食文化についてプレゼンを行いました。緊張しましたが、練習の甲斐もあってか、我ながら聴衆の期待に上手く応えられたと自負しています。

留学を通じて、国際交流でのコミュニケーションの大切さを知りました。もちろん英語力は大切です。しかしそれだけではありません。もう一つ大切なこと、それは相手の気持ちに気づく力だと思います。当たり前にも聞こえるかもしれませんが、それこそが、私の留学を成功に導く鍵であったと思います。

私の今の英語の実力は、1 対 1 で、こちらに合わせて話してくれている時だけコミュニケーションが取れる状態です。そのため、2 人以上のネイティブ話者の会話に入りたくても、会話のスピードについていけず、とても悔しい思いをしました。これからは英語を使う機会を探して、より多くの人とコミュニケーションが取れるように勉強を継続しようと思います。



短期留学: ワイカト大学
(ニュージーランド ハミルトン市)
派遣期間: 3 週間(2023 年 3 月)
持田 晴生さん (学部 2 年)

ニュージーランドでのホームステイは、日本とは異なる生活様式と直接触れ合う機会でした。そこでは、食生活や文化、マナー、それら全てが私の視野を広げてくれました。特に睡眠時間における違いは、午後 9、10 時に寝て、翌朝 5、6 時に起きるという生活パターンが新鮮で、そのことがニュージーランドの高い幸福度に一役買っているのではないかと感じました。

学業においては、会話に焦点を当てたアクティビティが主で、それにより英語のスピーキング能力を向上させることができました。特にワイカト大学での体験は有意義で、ボランティアの学生たちと積極的に英語で会話をする機会が多く、それが大きな自信となりました。

学業以外の時間も、家に留まることなくアクティブに過ごしました。部活に参加したり、友達とショッピングや観光地へ出かけたり、さらには友達のホストマザーの知人を通じてツアーに参加するなど、多彩な体験をしました。

このホームステイは私にとって充実した時間であり、新たな視点と経験を得ることができました。特に、主体的に行動を取り、その結果得られた経験が自己成長に繋がったことは、最も大切な教訓でした。

これらの経験は私の人生にとって重要な資源となり、それを無駄にしないよう、今後の自己成長に役立てたいと思っています。



学生作成ビデオ紹介コーナー

早藤 史明さん(学部 2 年)

Hello Everyone! この春、アメリカのローズハルマン工科大学で、3 週間の短期留学を経験しました。参加した理由は、私自身のネットワークを広げたいと思ったからです。また、自分の英語力がどれだけ通用するのかを、試してみたかったのです。参加して学んだことは、英語力が足りなくても勇気さえあれば、異なる国でも、お互いに意思疎通ができるということです。挑戦することで、成長することができました。

会津大学への留学生 Fraser さんと、ローズハルマン工科大学の学生、Nyomi さんへの英語でのインタビューです。よろしければぜひ、ご覧ください。

URL: <https://youtu.be/Se0rO78-CAY>

インタビューの様子



2023 年度 国内留学準備、海外留学プログラム(予定)

海外短期留学、国内留学準備	・9 月【4 泊 5 日】海外留学準備のための英語体験プログラム: 国内 ・9 月【2 週間】大連東軟信息学院 夏期短期留学プログラム: 中国 ・2024 年 3 月【3 週間】ローズハルマン工科大学: 米国 ・2024 年 3 月【3 週間】ワイカト大学: ニュージーランド
海外中期留学	・2023 年 8 月～2023 年 11 月【3 か月】ローズハルマン工科大学: 米国 ・2023 年 9 月～2024 年 2 月【6 か月】オストバイエルン・レーゲンスブルク 応用科学大学: ドイツ

今後も学生が参加できる国際交流活動を支援し、国際交流・海外留学のきっかけづくりに努めてまいります。

※グローバル推進本部 国際戦略室については、下記からご覧いただけます。

■国際戦略室 ウェブサイト

<https://u-aizu.ac.jp/osip/>

■プログラムに参加した学生のレポート

<https://u-aizu.ac.jp/osip/dispatch/report/>

■グローバルラウンジの活動について

<https://u-aizu.ac.jp/osip/abroad/gl.html>

■海外の協定大学との連携

<https://u-aizu.ac.jp/osip/school/index.html>

学園祭実行委員会の紹介

こんにちは!会津大学学園祭実行委員会です。
私達は会津大学の学園祭、通称「蒼翔祭」の総合的な運営、管理を行っています。
昨年度に引き続き、今年度も対面での開催を予定しております!

◎ 今年度の蒼翔祭の開催について

今年度の学園祭は11月4日(土)、11月5日(日)に開催する予定です。10月中の開催は天候の影響を受けて中止になる可能性を考慮した結果11月の第1土、日曜日に行う運びとなりました。寒い時期の実施となりましたので、暖かい格好をして足元にお気をつけて来ていただければと思います!

◎ 最後に

私たちにとって対面での学園祭の開催は、去年に引き続き2回目ですが、例年行っているサークル主体の企画やステージ発表に加え、昨年の人気企画であった「ドローン体験会」や、今年からの新企画「蒼翔祭ソッカソン」、また6年ぶりの復活企画「IoTピザ窯」を通して、さらに蒼翔祭がパワーアップします!!ぜひ、学園祭を楽しんでいただけたら嬉しいです!



修学支援室より

修学支援室は、講義や演習だけでは内容を十分に理解できなかった際に先輩に相談・質問できる場です。支援室には本学卒業生が務める修学支援員及び大学院生・学部生によるアシスタント(TA・SA)が待機し、数学からコンピュータ系科目まで幅広く対応しており、1年生をはじめ、多くの在学生の皆さんも利用しています。

パーテーションで区切られた自習室も備えていて、様々な学生にあった形で利用できるようになっています。



◆ オンライン化への取り組み

昨年、新型コロナ対策のため学内への立ち入りが一時期制限されましたが、そのような状況でも学業支援を行うために様々な検討を行いました。

実際に行った取り組みとして、メールでの質問対応や授業で難しく感じた箇所についてアンケートの実施、web上での解説等を開始しました。

特にメールでの対応は立ち入り制限解除後も継続しています。結果、支援室内外で学生さんのサポートを行うことに成功しています。今後も利用者の利便性向上のためこれらの取り組みについて継続する予定です。

◆ 履修相談会

科目の履修、進級に関わる規定、オンライン授業開講など近年で授業内容が大きく変更されています。これにより自分の履修状況等を不安に感じる学生も少なくありません。そのような相談に対し、情報の提供及び今後の履修計画の提案なども行っています。

また、昨年度から質問対応同様でメールでの相談も受け付けています。

◆ 試験期間中の対応・臨時開室

期末試験直前の勉強の追い込みをしたい学生向けに日曜日に臨時開室し、試験勉強のサポートを行いました。また、メールでの質問対応も行い様々な学生さんに対応をしています。

学生スタッフ紹介

博士前期課程2年 藤田一旗さん



修学支援室 TA 歴3年目です。大学で学んだ知識を活かし、後輩たちに課題や試験のアドバイスをしています。学んだことを復習する上でも大いに役立っており、非常にやりがいを感じています。

修学支援室 (研究棟2階 246E)

● 電話: 0242-37-2758 ● Email: ofls@u-aizu.ac.jp

<https://u-aizu.ac.jp/campus/support/learningsupport/>

保健室・学生相談室より

■ 保健室

阿部 さえ子 看護師



私の根底にある「看護覚え書」(ナイチンゲール著)の序章の冒頭の言葉をご紹介します。

「All disease, at some period or other of its course, is more or less a reparative process, not necessary accompanied with suffering」

どのような病気でもその過程のどの時期かは、程度の差こそあれ回復の過程であって、必ずしも苦痛を伴うものではないということです。

研究棟1階 (148)

0242-37-2517

nurse@u-aizu.ac.jp

■ 学生相談室

橘内 哲治 カウンセラー



研究棟2階 (252)

0242-37-2610

counseling@u-aizu.ac.jp

人は思っているよりも強く、思っているよりはずっと弱い。人とは、矛盾だらけの心の有り様なのかも知れません。心での捉え方の習慣が変われば人格が変わり、人格が変われば運命が変わります。一緒に話してみませんか。

就職支援室より

現在社会全体で急激な DX 化が進んでおり、多くの業界でデジタル化に必要な人材を求めています。

会津大学はまさに IT 人材の育成を目指している大学であり、学生自身の高い専門性と積極的な活動の成果が各業界から評価を受け、高い就職率につながっています。

就職支援室では、一人ひとりに進路個別面談を行い、進路を考える上でのサポートや直接話すことで関係性を築くことなどに注力しています。

就職活動では、答えを教えるのではなく、「考えるプロセス」を通じて、自分の価値を見出せるよう支援を行っています。



就職相談員の木戸相談員 & 瀬戸山相談員

◆ 対応できること (オンライン相談可)

- ◆ 進路・就職相談・インターンシップ など
- ◆ エントリーシート・履歴書添削・アドバイス
- ◆ 面接対策、面接練習
- ◆ その他 ひとりで抱え込まず、お気軽にご相談ください

◆ 保護者の為の就活ハンドブック (デジタル版)

- ◆ https://drive.google.com/file/d/1anYgnIsTLxLvWlu_y6WtzaeePV0bDAqr/view?usp=sharing

就職支援室 (学生ホール 2 階)

● 電話: 0242-37-2790

● Email: career@u-aizu.ac.jp



2022 年度 就職・進路状況について

後援会では、各種資格試験(情報処理技術者試験、TOEIC)の奨励金を支給するとともに、就職活動交通費・宿泊費についての補助を行い、学生の就職活動を支援しています。

2022 年度進路決定状況 (2023 年 5 月末現在)

◆ 就職状況

	進路希望	決定者数
民間企業	141	138
県内	20	20
県外	121	118
教員	2	2
公務員・団体等	6	6
起業・家業	0	0
合計	149	146
就職率	98.0%	
	進路希望	決定者数
本学大学院	61	61
他の大学院	4	4
海外の大学院	2	2
合計	67	67

主な就職先 (一部抜粋)

*は福島県内企業または拠点あり

【情報・通信業】

伊藤忠テクノソリューションズ
インターネットイニシアティブ
NTT データグループ
京セラコミュニケーションシステム
Sky
ソフトクリエイトホールディングス
BIPROGY
富士通
LINE
リクルート
エフコム*
シンク*
東邦情報システム*
福島コンピューターシステム*
福島情報処理センター*

【製造業・メーカー】

キオクシア
ソニーセミコンダクタソリューションズ
豊田自動織機
ハウス食品
日立製作所
ブルボン
ボッシュ
三菱電機システムサービス
アルプスアルパイン*
信越半導体*
日本デジタル研究所*

【コンサル・サービス】

野村総合研究所
楽天モバイル
アクセンチュア*
日本工営*
福島中央テレビ*

2023 年度 後援会活動について

後援会では、学生の健全で快適な学生生活を支援するため、福利厚生事業、学生会・学園祭実行委員会への助成、就職活動支援など様々な事業を実施しています。

2022 年度決算及び 2023 年度事業計画・予算につきましては、2023 年度後援会総会（※書面協議）において下記のとおり承認されました。（※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により本年度の総会については書面協議により実施いたしましたのでご了承ください。）

2022 年度決算

1 収入科目	決算額(単位:円)
会費	16,892,600
雑収入	198
TOEIC テスト受験促進事業	190,930
戻入	8,470
繰越金	14,412,631
計(a)	31,504,829

2 支出科目	決算額(単位:円)
会議費	0
事業費	14,042,782
学生課外活動助成費	6,001,100
厚生及び進路対策費	4,922,362
研修等助成事業費	0
スキルアップ奨励事業費	1,520,000
TOEIC テスト受験促進事業	1,599,320
PCR 検査緊急補助事業	0
記念事業積立金	500,000
予備費	0
計(b)	14,542,782
当期収支差額 (a) - (b)	16,962,047
次期繰り越し	16,962,047

2023 年度事業計画

時期	事業概要
2023 年	4 月～翌 3 月 クラス活動助成事業
	4 月～翌 3 月 新入生クラスミーティング運営補助
	4 月～翌 3 月 TOEIC テスト支援・受験促進事業
	4 月～翌 3 月 就職活動交通費・宿泊費補助事業
	4 月～翌 3 月 ボランティア活動費補助事業
	4 月～翌 3 月 研修等助成事業
	4 月～翌 3 月 スキルアップ奨励金事業
	4 月～7 月 10 月～翌 1 月 朝食定期券補助
	7 月 学生会・学園祭実行委員会への助成
	8 月 後援会だより(第 50 号)発行
2024 年	11 月 4 日 報告会・保護者相談会・懇親会・役員会
	3 月 後援会だより(第 51 号)発行
	3 月 19 日 役員会
	3 月 19 日 卒業記念パーティ

2023 年度予算

2023 年度後援会役員

I 2023 年度会津大学後援会予算

1 収入科目	予算額(単位:千円)
会費	14,313
雑収入	1
TOEIC テスト受験促進事業	190
繰越金	16,962
計	31,466

2 支出科目	予算額(単位:千円)
会議費	100
事業費	16,159
学生課外活動助成費	6,001
厚生及び進路対策費	6,520
研修等助成事業費	550
スキルアップ奨励事業費	1,520
TOEIC テスト受験促進事業	1,568
記念事業積立金	500
予備費	14,707
計	31,466

役職	役員	
名誉会長	—	
会長	小林 呂嘉	
副会長	五十嵐 敏之	湯田 由美
監事	生亀 和行	濱尾 忠弘
委員	鈴木 邦夫	松川 和芳
	小林 亜樹	津田 敦子
	本田 悟	佐藤 志津
常任委員	阿部 俊彦	

II 2023 年度記念事業積立金予算

1 収入科目	予算額(単位:千円)
積立金	500
雑収入	1
繰越金	4,970
計	5,471

2 支出科目	予算額(単位:千円)
記念事業費	4,900
予備費	571
計	5,471